

■ 懇談会での主な意見交換内容

各団体がやっているまちづくり活動のねらい

- 「中心市街地活性化協議会」: 「歴史・伝統・文化が息づくまちづくり」。
- 「地域づくり課(市役所)」: ボランティアの窓口。さらなる県と市の連携。
- 商店街・町内会: イベントを開催。本町は10年に及び活動。
- 「まちの駅ネットワーク白河」: 地元が元気であることを示したい。
- 「第2回南湖祭」: 11月はじめに開催。
- 「谷津田川せせらぎ会」: 6町内会が協力して景観向上の活動。
- 「友月山の管理・活性化利用をテーマとした会」



懇談会について

【抱負など】

- 白河の城と城下町を生かすべき。
- 古いものがもつ良さに加え、新しい良さを示す。
- 地元の人にはより一層のもてなしの心が必要。地域資源の案内人を育成。
- まちなかに「遊ぶ場所・術(すべ)」がほしい。
- 様々な資源活用の取り組みを束ねて、一つの流れにする。
- JR白河駅舎を中心に活動を展開できないか。
- 青森県の事例を知る機会があったが、あらためて白河がもつ歴史の価値は大きい。
- 「戊辰戦争があった幕末期」「東北の玄関口」に特色がありテーマになりうる。

【めあてなど】

- まちなかに「中心」「核となる場所」が必要。
- 女性の視点からみた意見をもっと採用すべき。
- もっと多くの市民参加が必要。
- 地元の事情に根ざした意見を発信。
- 物語性をもったアピールの手法が有効。
- 懇談会の意見を中心市街地活性化協議会、自らの活動に反映。
- 大型施設の跡地の活用方法。



懇談会の様子

【課題など】

- 団体客は白河駅からバスで遠方へ行ってしまう。
- 甲子道路の開通により単なる通過点として埋没してしまう。
- 那須の観光客を呼び寄せる魅力がほしい。
- 似た取り組みによる無駄を避け効率的な活動をすべき。



このほかにもたくさんの意見をいただきました。



懇談会の様子



懇談会の様子

地域資源を活かしたまちづくり活動の現状と課題 (凡例)

【地域資源の発見・再認識】

課題あり(×) 資源を発見する取り組み

- 物語として興味深いものを発掘。
- 幕末の歴史を掘り起こす。
- 高齢者の集まり(老人会)や学校での地域学習。



取り組み中(○) 資源の学習・情報交換

- 「福島大学白河サテライト教室(地域づくり課)」
- 「文化センター講演会(しらかわ歴史のまちづくりフォーラム)」
- 「月2回の情報交換(本町復起会)」
- 「定信公をテーマとした講演会(立教志塾)」
- 「白河ツーリズムガイド勉強会や月1回の役員会(観光協会)」
- 「公民館教室での文化財勉強会(市)」
- 白河の歴史授業を小・中学校でもっと取り入れるべき。

取り組みつつも課題あり(△) ガイドや案内

- 「解説案内板(本町)」
- 「ツーリズムガイド(小峰城)」
- 「ハリストス正教会や桜の案内」
- 人をもてなす気持ちや接客技術。
- 案内板が貧弱。
- 個別商店ごとに発信する仕組み。
- 手軽な歴史情報発信。
- 案内活動に取り組むグループ間の横のつながりがない。



【地域資源の利用と保全の調和】

課題あり(×) 資源の状態、保全と利用の調和

- 予算のつく文化財以外、ほとんど手つかず。
- 地域住民と行政が認識を共有し、住民の意見を取り入れる。



【来訪者満足度を高める情報の提供・共有化の促進】

取り組みつつも課題あり(△) 観光案内施設

- 休憩スペースやトイレを提供する「もてなしの店」。
- 休憩所、公衆トイレ、ポケットパーク、情報発信基地を整備。

取り組みつつも課題あり(△) ルートマップやサイン

- サイン基本計画(市)。
- 案内マップは点在する資源をつなげる工夫。
- まちなかの案内・説明板、各町の由来を示す案内板。



取り組みつつも課題あり(△) 地域の外から人を呼ぶ

- 定住人口を増やすプロジェクト(市)。
- 観光協会のブログは親しみやすい。
- 三大名所から中心市街地に人を呼ぶための魅力付け、PR。
- 会津地域とのバスの相互乗り入れ、観光の連携。
- 「白河の土産」となる「本当のもてなしの心と技」を向上。

すでに実践されている取り組み、現状の課題、考え・アイデア

【地域資源の価値の向上】

取り組み中(○) イベントや祭り

- 「だるま市」「提灯まつり」「南湖祭」「ひなまつり」
- 「端午のまつり」
- 「商店街スタンプラリー」「友月山の催事」
- 和菓子、茶会、着物など和の特徴を生かした催事。

取り組みつつも課題あり(△) 景観の向上、建物の復元

- 建物の建替え時に町家づくりの特徴である縦格子の設置をすすめている(本町)。
- 「乙姫桜プロムナード」「せせらぎ通り」「新蔵通り」歴史の香る道づくり。
- 蔵の取り壊しを止める方法がない。



取り組みつつも課題あり(△) 特徴的な品物、食物

- 三重櫓ハンバーガーの普及は今一步。「売れる特産品」を検討する。

課題あり(×) 地域での過ごし方、遊び方

- 「まほろん」の土器造りは面白い。
- 「つるしびな」づくりの体験教室。
- 地元での過ごし方、遊び方がもっとほしい。

課題あり(×) 地域のイメージアップ、白河らしさ

- 「白河らしさ」は明確な形になっていない。
- 「白河」の清いイメージ効果をねらう。

【来訪者満足度を高めるもてなしの向上】

取り組みつつも課題あり(△) 人材の育成

- 商店会の女性を中心に「真壁」「村上」の視察(本町)。
- 商店会や町内会ごとに学習会を開き、観光客をもてなす心と技を高める。
- 水曜日一斉休業を考え直す時期にきている。
- 蔵や町家には商店以外の住民も住んでおり、その住民たちが来訪者をもてなす動機、方策について考える。

取り組みつつも課題あり(△) 地域産品のアピール

- 特産品を売る店の存在感が弱い。
- JR白河駅舎を活用したアンテナショップ。

【来訪者満足度を高める快適な移動環境の確保】

取り組みつつも課題あり(△) 車、歩行者、公共交通手段

- メインの通りは歩行者空間の整備が進んでいる。
- 谷津田川せせらぎ通りは車が多く安心して歩けない。
- 三大名所を結ぶ公共交通機関が弱い。
- レンタサイクルの導入。